

新潟まつり「おまつり広場」内で「道路ふれあいコーナー」を開設しました。



地震体験は大人も感心がありました

新潟市中央区万代一丁目において、8月10日(土)、11日(日)の二日間にわたり、新潟まつり「おまつり広場」内で「道路ふれあいコーナー」を開設しました。

「道路ふれあいコーナー」は、毎年8月の「道路ふれあい月間」における啓蒙活動の一環として開設されているもので、道路を利用している皆様に道路の役割及び重要性を再認識してもらい、道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図り、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として、国道や市道等の道路管理者、新潟県警察の交通管理者、ガス・水道等の道路占有者等で構成する実行委員会が各種のコーナーを運営しました。

当事務所は、道路相談コーナー、クイズ、事業PRパネルの展示、道路パトロールカーの展示、路上落下物の展示、降雨体験・地震体験装置の運営を行いました。

ヒントがあるパネルを見ながら答えるクイズでは、ヒントのあるパネルだけでなく、事業を紹介するパネルも熱心に見ている様子が見受けられました。来場者からは「普段は全く意識していなかったが道路について考えるきっかけになった。」「道路のことをよく知ることができました。」等の意見がありました。



パネルを見ながらクイズの答えを考え中

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/20130808niitgatamaturi%20dourofureai.pdf>

萬代橋は今年で84才！

8月23日(木)に新潟市のシンボルである萬代橋は84才になりました。

萬代橋誕生祭は、萬代橋の歴史的な価値や役割を、楽しみながら再確認してもらおうと開催するもので、今年は8月24日(土)に11回目の開催となりました。

当事務所ブースは、初代萬代橋(明治19年竣工)から三代目萬代橋(現在:昭和4年竣工)に至る歴史を紹介するパネルの展示やアーチの仕組みの実験コーナーを開設しました。

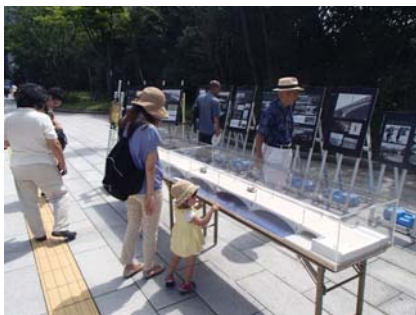
パネルを見ていた方は、萬代橋と歳が一緒だという方や、新潟地震でも壊れなかったが、橋から新潟駅方面は地盤沈下で膝まで水浸だったという当時の様子を教えて下さる方もおられました。

初代萬代橋ができたころは「よろずよばし」と呼ばれていました。「よろずよ」には、いつまでも橋が続き、新潟の町が発展するように。との願いが込められていたということです。

その名の通り、いつまでも新潟の発展とともに、ありつづけていくことでしょう。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/20130820bandaibashirekishipaneruwotenji.pdf>



3代目萬代橋建設当初の模型とともにパネルを展示



アーチの実験コーナー



萬代橋ファン倶楽部に来場者から寄せられたメッセージ

「道路ふれあい月間」内で「道路愛護団体」の表彰式を行いました。

受賞者の皆さんとの記念撮影

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図るため、全国的に各種の運動を展開しています。この月間に当たり、永年、道路愛護の活動や快適な道路環境の確保等に取り組み、その功績が特に顕著であった団体又は個人の表彰を行っています。

今年度は、「飯(いい)角(ずみ)町内会」・「(株)川崎商会新発田中央給油所」の2団体が国土交通大臣表彰、「(株)イエスト」が北陸地方整備局長表彰、「新潟エアポートライオンズクラブ」・「ホクリク総業(株)」・「(株)アルプスビジネスクリエーション」の3団体が事務所長表彰を受賞されました。

表彰式後、懇談会を開催し、日頃からのご苦勞やご要望など、貴重なお意見を頂きました。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/21030822douroaigodanntaiwohyousyou.pdf>

編集・発行・お問い合わせ



国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159 (代表) 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL: niikoku@hrr.mlit.go.jp みちナビ新潟: <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>

にいく 検索